

第七條 前條第二號供託書ニ通テ作成シ之ヲ本金庫ニ送付スルトキハ本金庫ハ一通ヲ本金庫ヘ留置キ一通ニ左ノ受領證ヲ記入シ供託者ニ返付ス

第三號(受領證式) 關第何號 右受領ス

年 月 日

何 本 金 庫 印

第八條 關稅法第五十條第二項ニ依リ供託ニ付シタル供託物ノ拂渡ヲ受ケントスルトキハ第四號書式ノ請求書ヲ作り第五號書式ノ證明書並ニ供託受領證ヲ(供託受領證トハ供託書ノ末尾ニ前條第三號書式ノ通り受領ノ旨ヲ記シタルモノヲ云フ)添ヘ金庫ヘ提出スヘシ但シ全部ノ拂渡ヲ要スルトキハ其受領證ニ第六號書式ノ如ク與書ヲ爲シ幾分ノ拂渡ヲ要スルトキハ第七號書式ノ領收書ヲ提出スルコトヲ要ス

第四號

供託物拂渡請求書

(一部請求ノトキハ何年何月何日第何號供託受領證ノ内ト肩書スヘシ) 一金何圓

前書ノ金額(何々ノ事由ニ依リ)拂渡相受度別紙證明書並ニ供託受領證相添ヘ請求候也

函館稅關鑑定課長

供託者 官 氏 名印

函館本金庫御中

第五號

證明書

(一部請求ノトキハ何年何月何日第何號供託受領證ノ内ト肩書スヘシ) 一金何圓

右ハ(何々ノ事由ニ依リ)拂渡ヲ要シ候也

明治 年 月 日 函館稅關長 、、、、印

第六號

(供託受領證ニ與書ノ式)

前書ノ金額正ニ領收候也

明治 年 月 日 函館稅關鑑定課長

受取人 官 氏 名印

函館本金庫御中

第七號

領收證書

何年何月何日第何號供託受領證ノ内

一金何圓 前書ノ金額正ニ領收候也

明治 年 月 日

函館稅關鑑定課長

受取人 官 氏 名印

函館本金庫御中

第九條 關稅法第九十條供託ノ場合ニ於テハ第一號乃至第二號並ニ第四號乃至第五號書式中供託ノ原因及供託スヘキ法令條項ヲ換フル外總テ第一號乃至第七號書式ニ準ス

第十條 關稅及關稅施行規則ニ依リ當事者ヨリ提出スル供託受領證ハ左記第一號書式供託受領證整理簿及第二號書式供託受領證出納簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

第一號書式		供託		受領		證		整理簿		備考	
年月日	摘要	供託受領證番號	供託人ノ姓名	供託物ノ種類	金額	額	備出月日	事由	備出月日	事由	備考
何	何々々	第何號	何某	何々千圓券二枚	2000	00	何月何日	納稅濟ニ付	何月何日	納稅濟ニ付	運付
何	何々々	全	全	金	5900	00	何月何日	關稅ニ充ツル爲	何月何日	關稅ニ充ツル爲	運付
何	何々々	全	全	全	3000	00	何月何日	同	何月何日	同	上
何	何々々	全	全	何々百圓券五枚	7000	00	何月何日	納稅濟ニ付	何月何日	納稅濟ニ付	運付
何	何々々	全	全	金	5000	00	何月何日	公費ニ付スル爲	何月何日	公費ニ付スル爲	備出
何	何々々	全	全	錢	5000	00					
	何々々	何年度計	全	金	45000	00					
	[備考]	(一)	本據ハ供託受領證一葉毎ニ記入スルモノトス	(二)	摘要欄ニハ供託ノ基因其ノ他必要ノ事項ヲ記入スルモノトス						
		(三)	有價證券ハ額面額ニテ金額ヲ記入スルモノトス	(四)	受拂ノ時々稅關長又ハ支署長ニ於テ金額又ハ備出月日ノ欄内ニ捺印スルモノトス						

第二號書式		供託		受領		證		出納簿	
年月日	摘要	證書枚數	金額	證書枚數	金額	證書枚數	金額	證書枚數	金額
何	何某外一人何々	2,	2,500	0	0	2,	2,000	0	0
何	何某外二人何々	3,	1,500	0	0				
何	何某分何々					1,	2,000	0	0
何	全	1,	50	0	0	4,	2,000	0	0
何	何某外三人何々					1,	50	0	0
何	何年度計	6,	4,050	0	0	5,	4,000	0	0
	[備考]	(一)	有價證券ハ額面額ニテ金額ヲ記入スルモノトス						
		(二)	受拂ノ時々稅關長又ハ稅關支署長ニ於テ金額欄内ニ捺印スルモノトス						

○同月十二日兼任ノ監吏ヲ配置シタル各監視署ノ廳費經費規程ヲ定ム○同月二十一日釧路稅關支署ニ專任官吏ヲ置ク○同月二十七日釧路稅關支署ヲ釧路稅務署内ニ移ス

九月一日日本關事務分掌規程中第十七條及第二十條ヲ改正ス

第二十條第五項ヲ削除シ第十七條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

五、 稅關雜收入外諸收入ノ測定ニ關スル事

○同月十九日曩ニ船宿業平野榮次郎等船舶ト陸地トノ交通特許ヲ得タル爲自費ヲ以テ建設シタル監

所ヲ買收ス○同月同日根室税關監視署ヲ根室町大字本町三丁目七番地ニ移轉ス○同月二十一日釧路
 税關支署庶務取扱手續ヲ定ム
 參照

- 釧路税關支署庶務取扱手續
- 第一條 庶務ハ之ヲ分ツテ文書事務、統計事務、會計事務ノ三トス
 第一章 文書事務
- 第二條 文書ハ之ヲ分ツテ左ノ五種トス
 一 圖書
 二 令達
 三 機密文書
 四 往復文書
 五、其他ノ文書
- 第三條 文書ハ前條ノ分類ニ從ヒ編綴保存ス
 第四條 往復文書ハ之ヲ分ツテ左ノ三種トス
 甲 本關往復文書
 乙 他官衙往復文書
 丙 其他ノ往復文書
- 第五條 凡テ往復文書ハ前條ノ分類ニ從ヒ番號ヲ付スヘシ
 第六條 文書ヲ發送セントスルトキハ之ヲ文書受送簿送ノ部ニ登錄スヘシ但物件ヲ添付スルモノハ同簿備考欄ニ其旨ヲ付記スヘシ
 第七條 文書ヲ接受シタルトキハ之ヲ文書受送簿受ノ部ニ登錄スヘシ但物件ヲ添付セルモノハ前條ノ例ニ倣ヒ其旨ヲ付記スルヲ要ス
 第八條 文書受送簿様式左ノ如シ

部之受		部之送	
收受番號	文書番號	發送番號	文書番號
一 何第何號	何々ノ件	一 甲第何號	何々ノ件
發送元	何 應	發送先	本 關
年受 月 日 付	何年 何月 何日	年發 月 日 送	何年 何月 何日
備 考	何 々	備 考	何 々

第二章 統計事務

- 第九條 統計ハ之ヲ分ツテ左ノ四トス
 一 外國貿易船舶及貨物ニ關スル統計
 二 沿海通航船舶及貨物ニ關スル統計
 三 漁業ニ關スル統計
 四 港灣ニ關スル統計
- 第十條 凡テ計表ハ毎月七日迄ニ其前月分ヲ調査製表スヘシ但時機ヲ俟テ調査ヲナスヲ便トスルモノハ此限リニアラス
- 第十一條 凡テ計表ハ第九條ノ類別ニ從ヒ編綴保存スヘシ
- 第十二條 毎年六月及十二月ノ兩度ニ於テ半期及年表ヲ調製スヘシ
 第三章 會計事務
- 第十三條 會計事務ハ函館税關經費整理規程、同物品購入及經費整理手續及物品出納處務順序ニ準據スルノ外本章ノ手續ニ從フヘシ
- 第十四條 第一類物品ハ備品整理簿ヲ以テ之ヲ整理スヘシ
- 第十五條 備品整理簿様式左ノ如シ

番號	品目	數量	受年月日	保存期限	摘要
一	藤張椅子	四	何年何月何日	何ヶ年	何々

第十六條 概算渡ニ係ル二類物品ハ二類物品出納整理簿ヲ以テ之ヲ整理スヘシ
第十七條 二類物品出納整理簿様式左ノ如シ

月別	品目	受高	受年月日	概算期限	拂高	殘高	摘要
四月	半紙野紙	一〇〇〇	何年何月何日	何ヶ月	五〇	九五〇	何々
五月	同				五〇	九〇〇	何々

第十八條 郵便切手ハ別ニ郵便切手受拂簿ヲ以テ之ヲ整理スヘシ
第十九條 郵便切手受拂簿様式左ノ如シ

年月日	發送先	普通	書留	電報	不足税	受入高	支拂高	殘高
何年何月何日	何々	一				五〇〇	〇三〇	四四七

第二十條 豫算内購入ニ係ル經費ハ物品購入經費整理簿ヲ以テ整理スヘシ
第二十一條 物品購入經費整理簿様式左ノ如シ

月日	品目	勞力	數量	單價	代價(貨)	債主	請求	支拂	摘要
						住所氏名	月日	月日	

十月三十日門監所ヲ造ル

十一月二十日夜室蘭稅關支署借入廳舎全燒ス

十二月二十一日監視部廳舎落成ス工費千四百四拾四圓〇同月二十二日小樽稅關支署附屬監所ヲ參拾圓ニテ購買ス〇同月二十六日函館港防波堤築造ノ事ヲ稟申ス

明治三十四年

一月函館船渠會社ノ經營ニ係ル修船々架工事竣功ス
備考

船架ノ全長ハ八百二尺餘ニシテ總噸數千二百噸以下ノ船舶ヲ上架セシムルコトヲ得ルト雖尾船體ノ形狀ニ依リテハ千四百噸マテヲ上架セシムルコトヲ得

三月八日安全火藥包、雷管、若クハ爆管ノミヲ裝置セル銃砲ノ空藥莢、安全導火線及起爆劑ヲ附セサル黃色藥ハ其包裝完全ナルモノニ限り普通貨物同様取扱ヒ陸揚、運搬及上屋其他ニ藏置等ノ際危險ノ虞ナキ様特ニ注意スヘキ旨達セラル〇同月二十八日經費取扱規程ヲ定メラル〇同月二十九日大藏省令ヲ以テ三十一年大藏省訓令稅關經費配賦並取扱順序及ヒ稅關事務計畫規程ヲ本年三月三十一日限り廢止セラル〇同月三十日法律第十號ヲ以テ帝國内ニ於テ製造シタル酒精又ハ酒類其他酒精ヲ含有スル飲料ノ輸出下戻金ニ關スル件ヲ公布セラル〇同月同日法律第十三號ヲ以テ砂糖消費稅法ヲ發布セラル(十月一日ヨリ實施)〇同月同日法律第十四號ヲ以テ關稅定率法中改正ノ件ヲ公布セラル

四月九日關稅ノ賦課ニ關スル訴願ニシテ訴願法第二條第一項ニ依リ處分ヲナシタル稅關ヲ經由スルノ手續ニ違背シ直接大藏大臣ニ提出シタルカ爲メ同法第九條第一項ニ依リ却下セラレタル場合ニ於テ其却下ニ基因シテ第八條第一項ノ期限内ニ提起シ能ハサル者ハ當分ノ内同條第三項ニ依リ特ニ之

ヲ宥恕シ受理セラルヘキ者モアルニヨリ右却下セラレタル訴願ハ期限經過後ノ提起ニ係ルモノト雖モ成規ニ依リ進達スヘキ旨主稅局長ヨリ通牒セラル○同月十二日法律第二十八號ヲ以テ稅關貨物取扱人法ヲ發布セラル(本年七月一日ヨリ施行)○同月同日法律第三十二號ヲ以テ稅關稅定率法付屬輸入稅表中改正ノ件ヲ公布セラル○同月二十二日關稅法第九十八條ニヨリ外國船廣島縣下因ノ島ニ出入ノ特許出願ノ場合ニ於テハ自今當該關ニ於テ特許シ同時ニ吳鎮守府ニ電報ヲ以テ通知スヘキ旨達セラル

五月二日勅令ヲ以テ稅關官制中改正ノ件ヲ公布セラル○同月同日會計檢査院達ヲ以テ海關稅、噸稅及稅關雜收入徵收額證明規程ヲ定メラル○同月十五日日本關ニ於テ關稅賦課ニ關スル異議取扱規程ヲ定ム

參照

函館稅關異議取扱規程

關稅賦課ニ關スル異議取扱規程

- 第一條 關稅ノ賦課ニ關スル異議ノ申立書ヲ提出スルモノアルトキハ官房ニ於テ之ヲ受理ス
- 第二條 前條ノ文書カ關稅法施行規則第五十一條ノ要項ヲ具備セサルトキ又ハ單ニ方式ヲ缺クニ止ルトキハ期限ヲ指定シテ之ヲ還付ス
- 第三條 異議申立カ法定ノ期間ヲ經過シ又ハ異議ヲ申立ツヘカラサルモノアルトキハ其理由ヲ付シテ之ヲ却下ス
- 第四條 異議ノ申立アリタルトキハ稅關長ハ隨時三名以上ノ審査員ヲ命シ該事件ノ審査ヲ爲サシム
- 第五條 審査員審査ヲ終リタルトキハ意見ヲ附シ關係書類並ニ物件ヲ添ヘ稅關長ニ具申スヘシ
- 第六條 官房ハ稅關長ノ命ヲ受ケ判定書ヲ起案シ關係各課ニ合議ノ上決裁ヲ請フヘシ

第七條 前條決裁濟ノ上ハ官房ハ第一號書式ノ判定書ヲ作成シテ本人ニ送達ノ手續ヲ爲シ第二號書式ノ受領證ヲ徵スヘシ

第八條 判定書ヲ異議者ニ交付スル能ハサリシトキハ官房ハ關稅法施行規則第五十五條ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 從價稅品課稅價格ニ關スル異議ノ取扱方ハ本關關稅事務規程第九章ニ依ルヘシ

第十條 支署ニ於テ異議ノ申立ヲ爲スモノアルトキハ支署長ハ關稅法施行規則第五十一條ノ要項ヲ具備スルヤ否、又ハ法定ノ期間内ニ提出セルヤ否ヲ調査シ受理スヘカラサルモノナルトキハ本規程第二條又ハ第三條ノ手續ヲ爲シ受理スヘキモノハ一切ノ關係書類並ニ物件ト共ニ意見ヲ付シテ稅關長ニ稟申スヘシ

第一號書式

第 號	異議判定書
住所又ハ居所(外國人ニアツテハ國籍)	氏 名
異議申立人	氏 名
異議申立ノ要領	氏 名
判定ノ理由	氏 名
因テ判定スルコト左ノ如シ	氏 名
主 文	氏 名
年 月 日	氏 名
函館稅關長 氏	名 印

第 號	受領証	第 號
右受領候也	異議判定書	壹 通
年 月 日	住所又ハ居所	氏 名 印
函館税關長 氏	名 殿	

○同月二十日監吏採用試験ヲ舉行ス受験者八名中及第者五名○同月二十七日大藏省令ヲ以テ税關貨物取扱人法施行細則ヲ定メラル
六月二日青森税關監視署ヲ青森市濱町ニ移ス○同月五日本關門監所執務規程ヲ定ム

參 照

函館税關門監所執務規程

- 第一條 門監所執務者ハ左ノ事項ヲ取締ルヘシ
 - 一 構内ニ出入スル旅客並ニ其携帶品ニ關スルコト
 - 二 構内ニ出入スル貨物ニ關スルコト
 - 三 構内ニ出入スル人夫馬車等ニ關スルコト
- 第二條 門監所執務者ハ檢査ヲ受ケサル貨物又ハ旅具ヲ携帶シテ出門スル者アルトキハ之ヲ制止シ本部ニ急報スヘシ
- 第三條 門監所執務者ハ毎日執務中ニ起リタル事項ヲ日誌ニ記載シ巡廻監視ノ檢閲ヲ受クヘシ
- 第四條 門監所執務者交替ノ際ハ其執務中ノ重要事項並ニ鎖鑰ヲ後番者ニ引繼クヘシ
- 第五條 監視部長ハ門監所執務者ノ定員執務時間ヲ定ムルコトヲ得

第六條 監視部長ハ門監所執務者ヲシテ構内取締ヲ兼務セシムルコトヲ得

第七條 監視部長ハ門監所執務者ヲ配置スルノ必要ナシト認ムル時期ニ於テハ之ヲ閉鎖スルコトヲ得

○同月七日税關長勝田主計歐洲へ差遣セラル○同月八日本關附屬官舎修繕ニ着手シ八月十五日竣成ス工費參千八百四圓六拾九錢○同月二十一日明治三十三年四月二日達輸出入半月報告ヲ毎月十日二十日及末日ノ三期ニ區別シ従前ノ通り主税局ニ報告スヘキ旨達セラル○同月二十二日本關税關貨物取扱人法實施手續ヲ定ム

參 照

税關貨物取扱人法實施手續

- 第一條 税關貨物取扱人ニ關スル免許監督其他此手續中他ノ部課ニ屬スル旨ヲ規定セサル事務ハ總テ官房ニ屬ス官房ニ於テハ貨物取扱人、擔當人及從業者ノ名簿ヲ作製シ供託受領證ヲ保管シ其他税關貨物取扱人又ハ同法施行規則ニ依リテ提出スル書類ヲ整理スヘシ
 - 第二條 法第二條第一項及施行細則第一條ニ依ル税關貨物取扱人免許申請ハ左ノ事項ヲ記載シ履歷書ト共ニ税關長ニ提出セシムヘシ但申請人カ會社又ハ外國會社ノ支店ナルトキハ履歷書ノ提出ヲ要セス
 - 一 營業所
 - 二 商號アルトキハ其商號
 - 三 開業ノ時期
 - 四 資産ノ總額
 - 五 法第三條各號ノ規程ニ違反セルコトナキ旨
- 但必要アリト認ムルトキハ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

- 六 申請ノ目的
- 七 申請ノ年月日
- 八 住所及居所
- 第三條 前條ノ申請アリタルトキハ申請人カ法第三條各號ノ規程ニ違反セルコトナキヤ否能力、資産、其他信用ノ程度状態ハ業務ヲ處理スルニ堪ユルヤ否ヲ審査シ意見ヲ付シテ申請書ヲ税關長ニ提出シ許可ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第四條 前條税關長ノ指揮ニ依リ申請者ニ對シテ免許ヲ與フヘキモノト決スルトキハ申請人ニ對シテ成規ノ免許料ヲ納付スヘキ旨ヲ命スルト同時ニ同人ヨリ免許料ヲ徵收スヘキ旨ヲ記載シタル文書ヲ以テ徵收課ニ通知スヘシ若シ又免許ヲ與フヘカラサルモノト決スルトキハ申請書却下ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第五條 徵收課ニ於テ前條ノ通知ニ接シタルトキハ納入告知書ヲ發シテ徵收シ申請人カ收入印紙ヲ以テ納付スルトキハ之ヲ納付書ニ貼付セシメテ受理シ手續濟ノ上ハ其旨ヲ官房ニ通知スヘシ
- 第六條 官房ニ於テ前條ノ通知ニ接シタルトキハ第一號書式ノ税關貨物取扱人免許狀及第二號書式ノ命令書ヲ作製シテ申請人ニ交付シタル上成規ノ期間内ニ身元保證物ヲ提供シ且開業前取扱料最高額ノ認可申請ヲ爲スヘキ旨ヲ告知スヘシ
- 第七條 前項ノ手續ヲ了シタルトキハ貨物取扱人ノ氏名、商號、營業所、開業日及免許ヲ與ヘタル旨ヲ各部課ニ通知スルト共ニ三週間本關揭示場ニ揭示スヘシ
- 第八條 貨物取扱人身元保證物ヲ提供セムトスルトキハ其全額若ハ有價證券ノ種類、額面、價格並ニ施行細則第四條ニ依リ貨物取扱人身元保證トシテ提供スル旨ヲ記載シタル身元保證物提供書ニ供託受領書ヲ添ヘテ提出セシムヘシ
- 第九條 前項ノ提出アリタルキハ成規ノ期間内ニ提出セルヤ否及ヒ身元保證物カ有價證券ナルトキハ前三箇月ノ平均市價以内ノ割合ヲ以テ計算セルヤ否ヲ調査シ不都合ナキトキハ預證ヲ交付スヘシ但身元保證トシテ提供スル有價證券ハ國債、地方債、若クハ確實ナ

- 第八條 株式會社ノ株券又ハ社債ニシテ取引所ノ相場アルモノタルヲ要ス
- 第九條 法第九條ノ取扱料最高額認可ノ申請ハ左ノ事項ヲ記載シ二通ヲ提出セシムルヲ要ス
 - 一 船積貨物ノ價格、數量若クハ個數ニ對スル取扱料ノ最高金額又ハ歩合
 - 二 船卸貨物ノ價格數量若クハ個數ニ對スル取扱料ノ最高金額又ハ歩合
 - 三 船舶ノ入出港、貨物受検査、庫入庫出、旅具又ハ携帶品取扱其他税關ニ對スル一切ノ申請申告ニ關スル取扱料ノ最高金額又ハ歩合
- 第十條 前條ノ申請アリタルトキハ其當否ヲ審査シ意見ヲ付シテ各部課ヘ回議ノ上税關長ノ決裁ヲ受ケ認可スヘキモノト決スルトキハ申請書ノ一通ニ第三號書式ノ記入ヲ爲シテ申請人ニ交付シ若シ又認可スヘカラサルモノト決スルトキハ申請書却下ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十一條 前項ノ手續ハ取扱料最高額ノ變更ニ關スル認可ノ申請了リタル場合ニモ之ヲ準用ス
- 第十二條 施行細則第七條ノ申告ハ支店又ハ代理店ノ營業所、商號アルトキハ其ノ商號、開業ノ時期並ニ擔當人ノ氏名ヲ記載シ其履歷書ヲ添ヘ貨物取扱人ヨリ提出セシムヘシ
- 第十三條 前項ノ申告アリタルトキハ擔當人ノ履歷書ヲ調査シ不都合ナシト認ムルトキハ各部課ヲ經テ税關長ノ回覽ニ供スヘシ
- 第十四條 前二項ノ手續ハ擔當人變更ノ申告アリタル場合ニモ之ヲ準用ス
- 第十五條 貨物取扱人ヨリ營業所又ハ代理店ヲ閉鎖シ若クハ其移轉ヲ爲シタル旨申告アリタルトキハ各部課ヲ經テ税關長ノ回覽ニ供スヘシ
- 第十六條 施行細則第八條ノ從業者ノ申告ハ從業者ノ氏名、住所又ハ居所ヲ記載シ其履歷書ヲ添ヘテ取扱人又ハ擔當人ヨリ提出セシムヘシ
- 第十七條 前項ノ申告アリタルトキハ其履歷書ヲ調査シ不都合ナシト認ムルトキハ各部課ヲ經テ税關長ノ回覽ニ供スヘシ
- 第十八條 前二項ノ手續ハ從業者變更ノ申告アリタル場合ニモ之ヲ準用ス

- 第十三條 税關支署ニ於テ施行細則第七條又ハ第八條ノ申告ヲ受ケタルトキハ其履歷書ヲ調査シ不都合ナシト認ムルトキハ其旨ヲ報告スヘシ
- 第十四條 貨物取扱人ニ對シテ第六條第一項ノ手續ヲ爲サントスルトキハ關係部課ヨリ其金額並ニ事由ヲ記載シタル文書ヲ以テ官房ニ通知スヘシ官房ニ於テハ事實ヲ調査シ相當ト認ムルトキハ供託物拂渡證明書按テ作製シテ税關長ノ決裁ヲ受ケ該拂渡證明書ニ供託受領書ヲ添ヘテ徵收課ニ送付スルト共ニ其旨ヲ貨物取扱人ニ通知スヘシ徵收課ニ於テ上記書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ拂込書ヲ添ヘテ金庫ニ送付シ手續濟ノ上ハ其旨ヲ關係ノ部課及官房ニ通知スヘシ但身元保證物カ有價證券ナルトキハ相當手續ヲ組テ現金ト爲シ然ル後徵收スルヲ要ス
- 第十五條 法第六條第二項ニ依リ身元保證物ヨリ債權ノ辨濟ヲ受ケントスル者アルトキハ該債權者ヨリ其金額並ニ債權發生ノ理由ヲ詳記シタル申請書ニ貨物取扱人ノ承諾書若クハ裁判所ノ判決書ヲ添ヘテ提出セシムヘシ
- 第十六條 前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ申請人ノ要求ハ理由アリヤ否及ヒ税關ノ優先權ヲ妨ケルコトナキヤ否ヲ審査シ不都合ナシト認ムルトキハ意見ヲ具シテ税關長ノ決裁ヲ受ケ身元保證物ヨリ拂渡ノ手續ヲ爲シ手續濟ノ上ハ前條第二項ニ準シテ處理スヘシ
- 第十七條 前條ノ手續ニ由リ又ハ身元保證トシテ提供シタル有價證券ノ價格減少シタルニ由リ貨物取扱人ヨリ成規ノ期間内ニ其不足額ヲ提供セントスルトキハ其身元保證不足額提供書ニ供託受領證ヲ添ヘテ提出セシメ其預リ證ヲ交付スヘシ
- 第十八條 貨物取扱人法第八條ニ依リ貨物ノ留置權ヲ執行セントスルトキハ其金額並ニ債權發生ノ理由ヲ詳記シタル文書ヲ以テ税關ニ申告セシムヘシ
- 第十九條 前項ノ申告アリタルトキハ事實ヲ調査シ不都合ナシト認ムルトキハ各部課ヲ經テ税關長ノ回覽ニ供スヘシ
- 第二十條 貨物取扱人ニアラサル者カ貨主ノ委任ニヨリ貨物ヲ取扱フニ當リテ委任狀ノ提出ヲ要セスト認ムル場合ハ監査課ニ於テ意見ヲ具シ各部課及ヒ官房ヲ經テ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第二十一條 貨物取扱人ノ取扱フ貨物ニ對シテ檢査ヲ省略スルモ差支ナシト認ムル場合ハ鑑定課ニ於テ意見ヲ具シ各部課及ヒ官房ヲ經テ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第二十二條 貨物取扱人ノ取扱フ貨物ニ對シテ檢査ヲ省略スルモ差支ナシト認ムル場合ハ同シ
- 第二十三條 一定ノ服裝ヲ爲シタル貨物取扱人ノ從業者ニ對シテ税關構内ノ出入ニ特種ノ便宜ヲ與フルモ差支ナシト認ムル場合ハ監視部ニ於テ意見ヲ具シ各部課及ヒ官房ヲ經テ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第二十四條 貨物取扱人ニ對シテ税關構内ニ於テ派出所ヲ設置セシメ又ハ土地建設物ヲ使用セシムルモ差支ナシト認ムル場合ハ庶務課ニ於テ意見ヲ具シ各部課及ヒ官房ヲ經テ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第二十五條 第十八條乃至前條ノ外貨物取扱人ニ對シテ特種ノ便利ヲ與フル差支ナシト認ムル場合ハ其主管ニ於テ意見ヲ具シ各部課及ヒ官房ヲ經テ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第二十六條 貨物取扱人業務上誠實ナラサルトキ税關又ハ貨主ノ利益ヲ害スル行爲アリタルトキハ事實ヲ具シテ官房ニ報告スヘシ
- 第二十七條 貨物取扱人業務ニ關スル法令ニ違反シ又ハ税關長ノ職權ニ基ツケル命令ニ違反シタルトキハ事實ヲ具シテ官房ニ報告スヘシ免許ヲ受ケスシテ税關貨物取扱人ノ業務ヲ行ヒタル者ヲ發見シタルトキ亦同シ
- 第二十八條 貨物取扱人ノ擔當人又ハ從業者ニシテ不正ノ行爲アリ若クハ貨主ノ利益ヲ害スル行爲アルニ由リ解雇セシムルノ要アリト認ムルトキハ事實ヲ具シテ官房ニ報告スヘシ
- 第二十九條 前二條ノ報告ヲ受ケタルトキ若クハ官房ニ於テ之ヲ認メタルトキハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ

- 第二十六條 貨物取扱人ノ營業免許ヲ取消サントスルトキハ第四號書式ノ營業免許取消告知書ヲ該貨物取扱人ニ交付スルト同時ニ曩ニ付與シタル營業免許狀ヲ還付セシムヘシ
貨物取扱人ノ營業ヲ停止セントスルトキハ第五號書式ノ營業停止命令書ヲ交付スルト同時ニ曩ニ付與シタル營業免許狀ヲ其停止期間中税關ニ預入レシムヘシ
法第十二條ノ違反者ヲ告發シタル場合ニ於テ其裁判ノ判決確定シタルトキ又ハ前二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ其旨ヲ各部課ニ通知スルト共ニ一週間本關揭示場ニ掲止スヘシ
- 第二十七條 擔當人若クハ從業者ヲ解雇セシメントスルトキハ其氏名及ヒ事由ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ貨物取扱人ニ告知スルト共ニ其旨ヲ各部課ニ通知スヘシ
- 第二十八條 税關支署ニ於テ貨物取扱人ニ對シテ特種ノ便利ヲ與ヘ若クハ特種ノ義務ヲ命スルノ要アリト認メタルトキ又ハ前條ノ處分ヲ爲スノ要アリト認メタルトキハ事實ヲ詳具シテ税關長ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第二十九條 貨物取扱人法第十一條第一項ニ依リ訴願ヲ提起シタル時ハ事實ヲ審査シ辨明書按ヲ作成シテ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第三十條 貨物取扱人法第十一條第二項ニ依リ行政訴訟ヲ提起シタルトキハ事實ヲ審査シ答辨書按ヲ作製シテ税關長ノ決裁ヲ受クヘシ
- 第三十一條 貨物取扱人廢業ヲ爲シタルニ由リ若クハ第二十六條第一項ノ處分ヲ受ケタルニ由リ身元保證物ノ還付ヲ申請シタルトキハ税關又ハ貨主ノ權利ヲ害スルコトナキヤ否ヲ審査シ意見ヲ具シテ各部課ヘ回議ノ上税關長ノ決裁ヲ受ケ身元保證物ヲ還付スヘシト決スルトキハ預證ト引替ニ供託受領證ヲ還付シ身元保證提供書ノ末尾ニ領收濟ノ旨ヲ記載シテ記名調印セシムヘシ
但身元保證物還付ニヨリテ貨主ノ權利ヲ害スル虞アルトキハ該還付申請書ニ裁判所ノ除權判決書ヲ添付セシムルヲ要ス

又ハ會社成立當時ノ業務擔當人ヨリ前條ノ手續ヲナサシムヘシ
前條又ハ前項ノ手續ヲ了シタルトキハ其旨ヲ各部課ニ通知スルト共ニ一週間本關揭示場ニ揭示スヘシ

第一號書式

税關貨物取扱人營業免許狀

住所又ハ居所

氏 名 (會社名)

住所又ハ居所

氏 名 (會社名)

右税關貨物取扱人法第二條第一項ニ據リ函館税關管内ニ於テ税關貨物取扱人タルヲ免許

年 月 日

函館税關長 氏 名 印

第二號書式

命 令 書

住所又ハ居所

氏 名 (會社名)

住所又ハ居所

氏 名 (會社名)

右ハ税關貨物取扱人營業免許候ニ付テハ左ノ各事項並ニ今後時々下スコトアルヘキ税關長ノ命令ニ從ヒ營業スヘシ

月二十九日大藏省主管ニ屬スル會計規則第五十二條第二項歲入事務管理廳及同條第三項主管大臣ノ職務ヲ稅關ニ委任セラレ計算書及證書類ハ稅關ヨリ直ニ會計檢査院ヘ送付シ會計檢査院ニ對スル答辨書ハ本省ヲ經由スヘキ旨達セララル

八月一日主稅局長ノ通牒ニ由リ收容貨物敷料徵收上期限ノ計算方ハ稅關法第百條第二項ノ規定ニ基キ其收容ノ時ヨリ起算シ二十四時毎ニ之ヲ一日トシ其期間ヲ計算スルコト、セリ○同月二十三日勅令ヲ以テ明治三十四年法律第十號(酒精含有飲料輸出)ヲ公布セララル○同月同日勅令ヲ以テ砂糖消費稅法施行規則ヲ公布セララル○同月二十四日稅關監視官阪口新圃函館稅關長勝田主計洋行中同稅關長代理ヲ命セララル○同月三十一日爾後御料品輸出入ノ節ハ宮内省ヨリ直接本關ニ通報スヘキニヨリ該輸入品ノ定率法第五條第一項ニ該當スルヤ否ヤノ鑑別及其輸出入貨物ニ對スル檢査執行ノ有無ハ本關ニ於テ決行スヘキ旨達セララル

九月五日從來稅關ニ於テ砂糖ノ關稅課稅上其關稅率ヲ異ニスル境界ニ付テノミ其色相ヲ檢査シ其他ハ之ヲ檢査セサル例ナリシモ消費稅課稅上ノ都合アルニヨリ今後ハ消費稅率ノ異ナル境界ニ付テモ稅關ニ於テ其色相ヲ調查シ置キ消費稅課稅上ハ成ルヘク其調查ニ基クコト、ナス旨主稅局長ヨリ内牒セララル○同月十日新置開港ニ於ケル船及客船取締ニ關スル規則ノ設定又ハ改廢等ノ節ハ當該地方廳ヨリ所管稅關ヘ協議スヘキ旨ニ付關稅ニ關スル取締上差支ナキ様取計フヘキ旨達セララル○同月十二日本關備丁(給仕水夫)取締心得及諸備丁執務心得ヲ定ム

參照

- 第一項 函館稅關備丁取締心得
- 第二項 稅關備丁取締ハ庶務課ニ屬シテ一定ノ制服ヲ着シ各備丁ノ屬スル房部課ノ命ヲ承ケ指揮監督スルヲ要ス
- 第三項 各備丁ノ勞役ハ總テ公平ヲ旨トシ事務ニ差支ナキ様常ニ備丁ノ配置ニ注意スルヲ

- 第三項 各備丁ヨリ提出スル願屆書ヲ進達シ及本關諸令達ヲ各備丁ニ傳達遵守セシムルヲ要ス
- 第四項 各備丁ニ關スル臨時ノ事故ハ其都度所屬房部課長ニ具申スルヲ要ス
- 第五項 稅關職員ニ面會ヲ求ムル來訪人アリタルトキハ鄭重ニ迎接シ所屬給仕ヲシテ案内セシムルヲ要ス
- 第六項 稅關備丁取締ハ每日(休日ヲ除ク)午前九時迄ニ登廳シ房部課長以上在廳中ハ勿論公用ノ外漫リニ詰所ヲ離ル、コトヲ得ス若シ公用ニテ外出スルトキハ庶務課長ノ承認ヲ受クルヲ要ス
- 第七項 稅關備丁取締ハ號鐘ヲ掌リ開廳閉廳ノ時報ヲ正フシ毎日正午ニ於テ各部課ノ時計ヲ更正スルヲ要ス
- 第八項 稅關備丁取締ノ制服ハ左ノ通り之ヲ給與ス
 - 一、被服 廣(前銀釦一重立襟)冬服、紺ヘル地裏付
 - 一、帽子 小判形(帽章別紙ノ通)紺羅紗地
 - 一、短靴 (短寸)
- 第九項 備丁取締ニ給與スヘキ被服ニ關シ前項ニ規定スルモノ、外總テ明治三十二年四月達備人被服給與規程ニ依ル

帽章



直徑八分 眞鍮地

袖章

地紺羅紗ニ徑二分ノ色羅紗ヲ以テ凡ノ字ヲ付着ス



豎一寸八分 横一寸三分

- 第一 項 函館稅關諸備丁心得
本關諸備丁ノ登廳ハ官吏登廳時間一時間前トシ登廳ノ上ハ直ニ出勤簿ニ捺印スルヲ要ス若シ病氣其他ノ爲メ欠勤スルトキハ其都度届出ヘシ
 - 第二 項 出勤中ハ總テ官吏及取締ノ指揮ヲ受ケ誠實ニ勤務シ公用ノ外漫リニ詰所ヲ離ル、コトヲ得ス若シ止ヲ得サル場合ニ於テ外出セシトスルトキハ所屬房課部長ノ承認ヲ受クルヲ要ス但シ宿直當番ノ者ハ宿直官吏ノ承認ヲ受クヘシ
 - 第三 項 本關官吏ハ勿論來關人ニ對スル應接ハ常ニ相當ノ敬禮ヲ表シ同僚間ニ於テモ互ニ疎漫ニ涉ルコトナキヲ要ス
 - 第四 項 在關中ハ勿論登廳又ハ退出ノ途ト雖モ私服ヲ着用シ不体裁ノ舉動ナキヲ要ス
 - 第五 項 宿直當番ノ者ハ閉廳中時間中ノ取締ヲ嚴ニシ内外ノ掃除ヲ周到ニシ特ニ火ノ元ニ注意スルヲ要ス
 - 第六 項 暴風雨強震等ハ勿論近火其他非常ノ事アルトキハ退出休養中ト雖モ速ニ驅付宿直官吏ノ指揮ヲ受クヘシ
 - 第七 項 各自受持ノ公務又ハ特ニ命令ヲ受ケタル事件ハ誠實ニ終了シ私ニ頼合等ナキヲ要ス
 - 第八 項 外出用使ハ敏速ヲ旨トシ書類其他物品ノ持運ハ鄭重ニ取扱ヲ要ス
 - 第九 項 貨主其他貨物取扱人等ニ對シ公務上懇切ヲ旨トスヘシト雖モ決シテ狎昵スヘカラス且漫リニ商人入夫等ヲ詰所内ニ立入ラシムルコトナキヲ要ス
 - 第十 項 内外人ニ拘ハラス關稅法違反等ノコトヲ見聞シタルトキハ他ニ之ヲ洩漏セス速カニ所屬部課長ニ内報スルヲ要ス
 - 第十一 項 本關諸備丁身上ニ關スル願届ハ總テ取締ヲ經由スルヲ要ス
- 同月十三日客年十一月類燒ノ爲假リニ室蘭支廳内ニ於テ開廳中ナリシ室蘭稅關支署ハ室蘭海岸町埋立地ニ移轉開廳セリ○同月同日省令ヲ以テ供託物取扱規程第十三條及第十四條ヲ改正セラル○同月十五日室蘭港ニ於ケル關稅法第二十八條ノ場所ヲ室蘭町大字海岸町室蘭稅關支署構内ニ指定セリ

○同月三十日犯則處分又ハ國稅滯納處分ノ爲メ差押物品ニシテ其當該廳ニ於テ保管スルモノハ物品會計規則ヲ準用スヘキ旨達セラル(十月二十日ヨリ施行)

十月一日砂糖消費稅法實施ニ付本關ノ一部ヲ函館稅務支署ヘ貸與ス○同月三日犯則處分又ハ國稅滯納處分ノ爲メ差押ヘタル物品ノ出納ハ物品出納規程ニ依リ取扱フヘキコトヲ達セラル○同月七日犯則處分ノ爲メ差押ヘタル物品保管規程ヲ定ム

參照

差押物品保管規程

- 第一 條 稅關官吏ニ於テ犯則處分上差押ヘタル物品ニシテ所持者若クハ市町村役場ニ保管セシメタルモノ、外總テ物品會計規則ヲ準用シ此規程ニ據リ保管スルモノトス
 - 第二 條 差押物品ノ保管ヲ要スルトキハ第一號書式ノ目錄ヲ添ヘ之ヲ監視部長(各署ニアリ)ニ送附スヘシ
 - 第三 條 前條物品ノ保管上特ニ經費ヲ要スルトキハ監視部長(庶務課長ト協議)又ハ各署長ニ於テ臨機處分ヲ了シ追テ稅關長ノ承認ヲ受クヘシ
 - 第四 條 保管物品ノ出納ハ明治三十二年四月達第六號物品出納處務順序ヲ準用シ第二號樣式ノ帳簿ニ登載シ其事跡ヲ明瞭ナラシムヘシ
 - 第五 條 保管物品ニシテ徵收スヘキモノト決定シタルトキハ監視部長又ハ各署長ヨリ第三號樣式ノ引繼書ニ現品ヲ添ヘ(各署ニアリ)之ヲ物品會計官吏ニ送付スヘシ
- 附則
- 第六 條 本規程ハ明治三十四年十月二十日ヨリ之ヲ實施ス
 - 第七 條 本規程實施前ニ於テ差押タル物品ニシテ現ニ保管又ハ沒收ニ係ルモノハ總テ此規程ニ據リ取扱フモノトス

第一號

八百八

差押物品保管目錄

一 何國產鹽鮭 何千何百尾 但 内何尾何々
 右ハ何郡區市町村番地何某關稅法第何條違反證據物品トシテ何年何月何
 日何所ニ於テ差押ノ分御保管相成度候也

年月日

官 氏 名 印

監視部長(各署長)宛

第二號

凡 例 (本簿ハ常用美濃野紙ヲ以
 テ調製記入スルヲ要ス)

差押物品受拂明細簿

關(署)名

◎ハ主任印

署部長印	品名	月日	受入	月日	拂出	現存	備考
○ ○ ○	鹽鮭	九月十日◎	壹千尾	九月廿日◎	壹千尾	○	住所氏名何々ニヨリ差押 處分濟ニ付何々ヘ引繼 通告中 差押處分 所へ送付 二付裁判
○ ○ ○	黑貂	同十五日◎	五枚		○	五枚	
○ ○ ○	長靴	十月一日◎	壹足	十月七日◎	壹足	○	

第三號

沒收物品引繼書

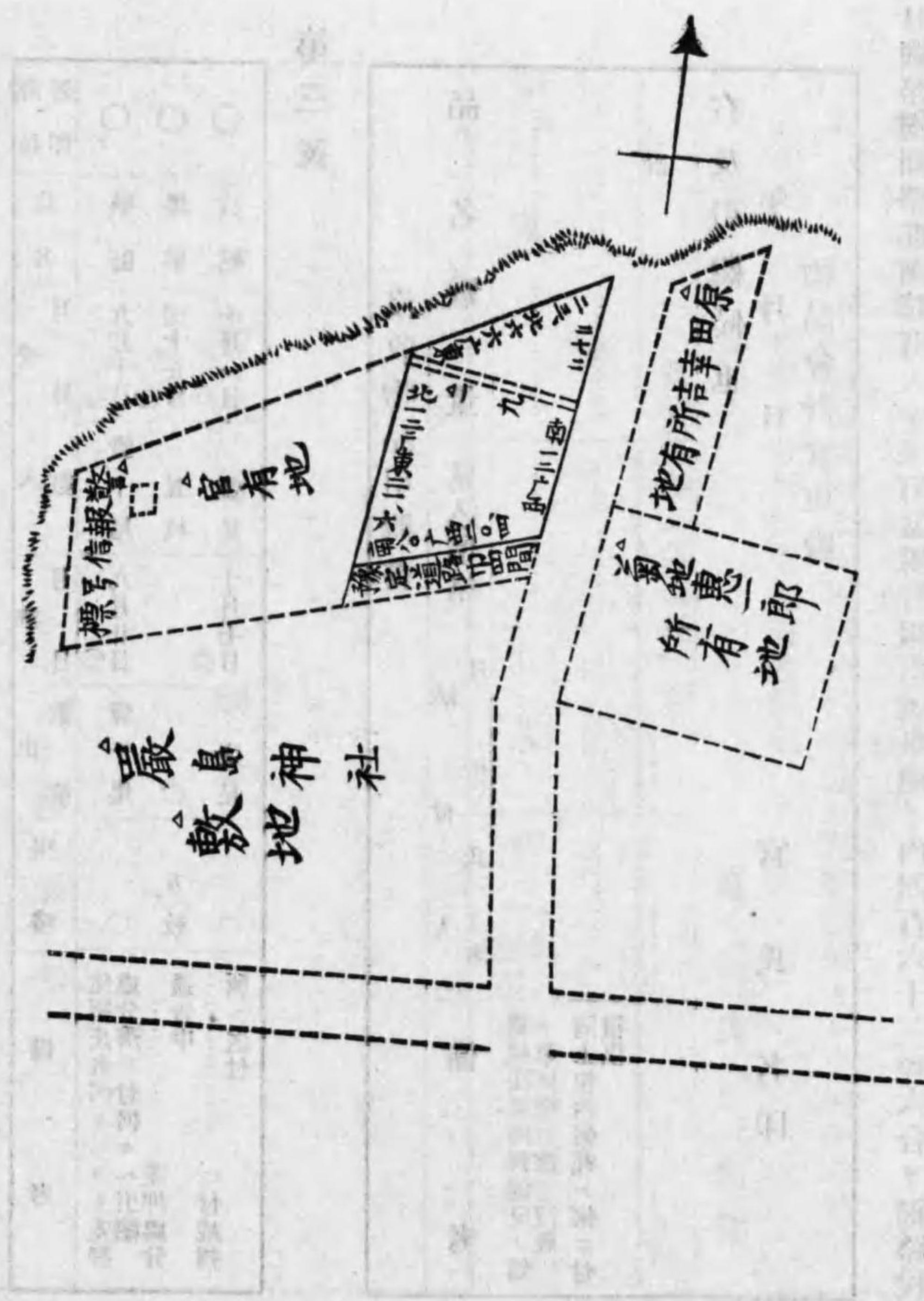
品名	數量	見込價格	住納所	付氏名	備考
計					關稅法第何條違反ノ爲 メ第何條ニ據リ沒收 同上但内何程ハ何ニ付 損傷
右及引繼候也					
年 月 日					
物品會計官吏殿					
官 氏 名 印					

○同月十五日釧路國釧路郡釧路町大字米町暴風警報信號敷地ノ内四百六十三坪六合ヲ釧路稅關支署
 敷地トシテ所轄廳ヨリ引繼ヲ了セリ

參 照

八百九

及△ハ朱字



○同月二十四日函館税務管理局ト砂糖消費税取扱上ノ協議ヲナス
参照

税務管理局長ヨリノ照會

- 一 輸入検査ノ請求アリタルトキハ税關ヨリ之ヲ稅務支署ニ通知シテ双方同時ニ檢スルヲ例トシ以テ色相其他檢定上ニ付一致ヲ期シタキコト
- 二 保税倉庫ニ庫入ノモノハ其ノ庫入ノトキニ於テ前項ノ手續ヲ爲スコト
- 三 右砂糖ヲ廻送積戻又ハ庫移シタルトキハ其時々税關ヨリ稅務支署ニ通知セラレタキコト
- 四 税關ノ輸入免狀ハ消費税納付又ハ擔保提供濟證明書ト同時ニ交付セラレタキコト
- 五 無請求品タル砂糖ノ公賣アリタルトキハ税關ヨリ其種類斤數、落札人ノ住所氏名ヲ稅務支署ヘ通知セラレ度コト

本關ヨリ回答

- 甲 税關ニ於テハ監査課ニ消費税領收證又ハ消費税擔保提供濟證明書ヲ添ヘ輸入税領收證ヲ提出シタルトキ輸入免狀ヲ交付シ貨物ノ引取ヲ許可スルノ順序ト爲スヘキ事
- 乙 砂糖ノ擔保ヲ提供シテ輸入免狀前貨物引取ノ認許ヲ申請シタルモノアルトキハ申請書ニ消費税領收又ハ消費税擔保提供濟證明書ヲ添ヘテ提出セシメ然ル後許可ノ手續ヲ爲スコト又右引渡砂糖ノ輸入税ヲ本納セントスルトキハ前項ノ手續ヲ履行シタル上輸入免狀ヲ交付スルコト
- 丙 保税倉庫ヨリ庫出ノ際數量不足シ貨主ヨリ貴署ニ對シ減税ノ申請ヲ爲シタルトキハ處分前之ヲ本關ヘ御通知相成度事

○同月二十九日明治二十五年七月二十二日達船船及積荷ノ調査其他ニ關シ税關長ト在外帝國領事トノ直接通信ハ之ヲ廢止シ更ニ左ノ事項ニ付主稅局長ト在外帝國領事ト直接通信ヲ爲スコトニ外務大

臣ノ承諾ヲ得タルニ付今後税關ニ於テ左ノ事項ニ付在外帝國領事ト通信ヲ要スルトキハ其都度主税局長ニ申出ヘキ旨達セララル

- 一 船舶及其他積荷ノ調査ニ係ル件
 - 一 積荷目録仕入書等調査ニ係ル件
 - 一 外國税關規則中臨時質問ヲ要スル件
 - 一 税關法規ニ關スル書籍購入交換及送付方依頼ニ係ル件
 - 一 輸出入物品ニ關シ外國ニ於ケル狀況等調査ニ係ル件
- 十一月十三日遞信省令ヲ以テ外國小包郵便規則ヲ定メラル○同月十四日日本關所轄内營業ノ税關貨物取扱人山崎益次郎營業ヲ廢止ス○同月二十五日室蘭町波止場道路敷地ノ内百三坪五合五勺ヲ室蘭税關支署敷地トシテ所轄應ヨリ引繼ヲ了ス○同月二十六日日本關ニ於テ支出證明書類ノ正確ヲ期スルカ爲メ支出證明書類調査内規ヲ定ム

支出證明書類調査内規

- 第一條 會計規則第五十二條第二項ニ據リ毎月支出ノ計算書並ニ證明書類ヲ會計検査院ニ提出セントスルトキハ下検査員ニ於テ同院所定ノ支出證明規定及左ノ各項ニ照シテ之ヲ調査シ不都合ナシト認メタルトキハ税關長ノ決裁ヲ受ケ必ス二日以内ニ發送ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一 該經費ハ正當ニシテ豫算ノ目的ニ違ハサルヤ
- 二 該經費ハ豫算ヲ超過セサルヤ
- 三 該經費ハ科目、年度ヲ誤ルコトナキヤ
- 四 仕拂命令ト證明書類トノ番號ニ相違ナキヤ
- 五 物品購入ニシテ出納簿登記ノ年月日ヲ脱シタルモノナキヤ

參照

- 六 證明書類中訂正ヲ爲シタルモノハ相當ノ手續ヲ了シアルヤ
- 七 俸給其他一定ノ給與ニ屬スル異動ニ對シ其事由ヲ證明スヘキ書類ノ誤脱ナキヤ
- 八 旅費支給ニ屬スル證明書類中用務其他ノ判明ヲ欠クモノナキヤ
- 九 工事又ハ物品購入代等ニシテ不備ノ點ナキヤ
- 十 證明書類中、名稱、種別、數量、單價等ノ判明ヲ欠クモノナキヤ
- 十一 計算書記載ノ事項ハ凡テ正確ニシテ違算違式ノ點ナキヤ
- 十二 科目更正、定額戻入、返納金等ニシテ年度ノ誤リ又ハ其事由判明ヲ欠クモノナキヤ
- 第二條 支出證明書類中違算違式又ハ其他ノ不備ヲ認メタルトキハ税關長ニ具申シ庶務課長ヲシテ帳簿其他ノ原憑ニ據リ更正ノ手續ヲ爲サシムヘシ
- 第三條 前條ノ場合ニ於テ事細微ニ屬シ大体上別ニ不都合ナシト認メタルトキ庶務課長ニ通牒シ直ニ更正セシムルコトヲ得

函館沿革史附錄

函館稅關沿革史終

第二	期	一〇,九四三三	七,三三八	一,五七六五三	二,六四三三
第三	期	一〇,九二九七七	六,六六九	二,六七八六四	一,三,四七五三九
第四	期	一一,〇〇四五六	二,八三,一八七	一,二四一,三三五	二,二,六四九七八
第五	期	一〇,二五三,八九	三,六四三,三二	一,一三七,二五五	一,一,八五四八七五
第六	期	一八,七一九五九二	七,〇四八五	一,三五五,九七九	二〇,七九六,〇五六
第七	期	一六,四三九,八九九	六,六六一五	一,二五九,九四七	一八,三三五,九六一
第八	期	四,五六九,七七八	二,八七,四七〇	三七八,四〇三	五,三六,六五二
八年	度	一七,七〇八,三六七	一,二四八,四四八	五六〇,〇〇〇	一九四,一六八,一五
九年	度	二〇,九六六,五七七	六,九九一五	九六,二五〇	二二,二九,一七四二
十年	度	二二,八七〇,二六	四,八八九五八	一八〇,四五七三	二五,一八,五五七
十一年	度	二三,九三九,七四一	二,九三三,三五	一,三五九,二七六	二五,五九,二五三
十二年	度	二八,〇三三,四一	八,六〇,七二	一,三七,〇三〇	三〇,二〇,七三
十三年	度	二四,九五九,九三四	九,〇五七,四〇	一,〇一七,七一〇	三五,〇〇,三三九四
十四年	度	二三,〇六〇,三九九	五,七九二,七八二	一,〇三九,二八一	二九,八九,二四六二
十五年	度	二四,四八〇,七四八	四,〇〇,八九九	一,一四六,三八九	二六,〇五八,〇〇六
十六年	度	一九,八三五,八七四	六,八四,七四	八〇八,二八〇	二〇,七二,六六八
十七年	度	一八,一三八,五二〇	三,七,四二一	八八七,七八	一九,一八,四六七九
十八年	度	二二,一八三,三二	四,八九八,七四	一,四一三,四四	二四,〇八,五四三九
十九年	度	三二,九七二,八九九	一,〇九八,三五	二,一九五,七五八	三五,一九,四九二
二十年	度	三三,七四三,三五	六,六五,四九	三,六九二,〇三五	三七,四七,二八九

二十一年	度	二七,四六四,〇三三	三,〇一,五三	二,九五九,九九〇	三〇,七四三,七六六
二十二年	度	三〇,〇〇四,四五二	一七,六七,九九九	三,〇八〇,〇八二	五〇,七六一,五三二
二十三年	度	二六,五〇八,八七八	三,〇二七,一九七	三,二〇一,〇四〇	五二,七三二,一五
二十四年	度	一六,三四二,六六	八,六二〇,四八五	三,三五〇,二六	二八,二四九,七七
二十五年	度	一七,六四四,二〇	七,三二,七二	三,四六八,二五	二二,七四三,〇一七
二十六年	度	一五,六八八,三七〇	一,九一六,〇一九	五,二六〇,四二五	二二,八六四,八二四
二十七年	度	二七,〇五三,二〇	三,九六八,七〇四	七,一七五,三一九	三八,一九七,三三
二十八年	度	二九,六五二,一八	七,七八,三八八	五,五三,四〇〇	四二,九五六,九〇六
二十九年	度	二四,六六二,六八	一五,一四〇,三九	七,二九九,四一六	四七,〇九七,三
三十年	度	三五,六三二,七七	一七,二七,四三九	八,八八六,二二六	六一,七四六,四〇二
三十一年	度	三六,八二,二九	三五,八四七,一五八	七,四一五,五五一	八〇,〇三三,八三八
三十二年	度	八,三四,四四一	一七,二七,八八	六,三五,九八三	一九七,四七三,八四二
三十三年	度	—	三三六,五〇四,七六	五,九三七,二〇	三五四,四〇一,〇六
三十四年	度	—	二四八,一四,四〇	一六,七七〇,五〇	二七二,六四,三六五

備考

期ト稱スルハ曆年計算ニ依ルモノナリ
 第八期トハ八年一月ヨリ三月マテ
 八年度ト稱スルハ八年四月ヨリ九年三月盡日マテ

明治八年以降函館税關經費調 (八年以前不詳)

(十五年度ハ證據書類ナキヲ以テ半年度分ノ調査ニ止ル)

年度	區分	俸給及諸給	廳費	修繕費	旅費	雜給及雜費	計	新營費
八年度		七,三四八四五	一,二四四〇五四	一,二七三六六	三七一六五〇	一,九七六二六	二,〇七七七七	
九年度		七,八一八二六	九,九七六九四	一九五五八四	四,九三三〇〇	二,二二〇一八〇	二,一六〇八七四	
十年度		六,六〇二二三	一,四七九三三	四,九三五四八	七,五五二〇〇	二,七九二五二	二,一三三〇五	
十一年度		七,六二九三六	一,七二一九三九	二,四一八五	六,八三三〇〇	三,三三二八七	一三,五四九六五七	
十二年度		八,三〇七九七	一,七五九九五二	一,一〇四三五	九,〇三五〇〇	三,八九七九三	一五,九七三六三	
十三年度		八,〇六九七〇	一,七八五六四九	二,五四二六	七,六三六〇〇	三,六四五八六	一四,五一九四二	
十四年度		八,四三三九五	一,三五八一八七	三,五九三七七	五,七八二〇〇	三,八八七二〇〇	一四,六〇六四九	一,三五〇八〇
十五年度		四,二八六五〇	六,〇八九七二	四,一六〇三		一,一〇七,一〇二	六,五一八六五	
十六年度		九,三二一五六	九,四四〇九五	一,七六七二〇	一,〇七三,一〇〇	四,三三五五二	一七,四一六三	一,五四八〇〇
十七年度		八,八四二八四	九,五三,五〇八	七,五〇四五	六,五六,〇〇〇	三,五九一八九	一四,七四九七〇	
十八年度		六,六七九四七	八,七三,三二	四,二二二七	一,二〇,五五〇	二,七九五三六	一一,〇七九九一	六九五〇〇
十九年度		五,一四二五四	一,〇三四,三六八	七,六一八五〇	七,四八,一〇〇	六,八六八,九三七	一五,五二八四九	
二十年度		五,三五一九九	九,三,九八二	八,四二八〇三	五,九一〇〇	六,九〇,六二五	一四,五四八五〇	
二十一年度		五,四六六,九三九	八,一五,六〇六	六,四八七三	五,八三,一〇〇	六,〇六三,〇四五	一三,五七七四三	
二十二年度		六,七六四〇五	九,三二,五二〇	六,四四四六七	五,一六〇四〇	四,〇八八四九	一三,七五九七〇	
二十三年度		八,九〇二九七六	一,〇六四,八九一	六,八五,九三	七,五〇,三三〇	四,九四八,六六五	一四,〇五七,一六二	四九,一一〇
二十四年度		八,九七六三三	一,〇四三,三〇〇	四,〇八九九〇	四,九三,八〇〇	三,〇三二,四〇一	一三,九〇,八六五	
二十五年度		八,二〇三三六	八,四〇,一七〇	五,〇一九六一	六,四九,六七〇	三,一四四,八六六	一三,三三〇〇三	一四〇,五〇〇

二十七年度	七,三七,〇四一	一,〇〇三,〇一五	四,〇八,三三	六,五〇,一〇	三,二〇五,二八〇	二,四九,五六九	
二十八年度	七,二四,四三六	一,一三,五四八	五,〇五,九五	五,七九,五〇	三,八二八,二五八	一三,〇〇,二七	
二十九年度	七,〇一,七五	一,二四,一六四	四,九〇,八三〇	八,三三,七〇	三,九三三,二六六	一三,五八一,八〇五	一,四四,〇〇〇
三十年度	七,九二,五七七	一,六〇,六六二	六,〇一,〇〇〇	一,〇一,一九五〇	四,六六一,〇〇五	一五,八九三,一九四	二,〇一,四二八
三十一年度	七,四四,三三三	二,〇一,六四七	七,八〇,九四七	一,七二,二八七〇	四,七四五,一四五	一六,五〇〇,二九一	二,五四,五九〇
三十二年度	一,三二,九七二	二,九八〇,九九二	一,七六,〇〇〇	四,一六,七四六〇	七,六九七,九七七	二九,八六九,六三三	七,六七,七七七
三十三年度	一,五,六九六	六,三三,九四二	一,六四,七九五	二,五〇,八七六〇	七,二七八,三五八	三三,四九,一四三	二,三三,八六五
三十四年度	一,七,七七九	五,三三,八六二	一,六八,八九六	八,八〇,四一〇	一〇,〇六二,三二七	四三,六六一,八五八	七,七九,七五五

官有財産
一、建設物

△印ハ朱書

區分	建設年度	種類	棟數	坪數	建設費	備	考
本關應舍	四年	木造	一	一六五,二五	三,二九九,九五〇	本建築費ハ概算見積價格トス	
水夫溜所	同	同	一	一八〇〇	一七九,〇〇〇		
同物置	同	同	一	二〇〇	七,〇〇〇		
同倉庫	同	同	一	九〇〇〇	五,四二〇,〇〇〇		
同上屋	同	同	一	一,〇〇〇	一〇,八九七,四八		
同上屋	同	同	一	一三,二〇〇	九八四,四五六		
同物置	同	同	一	一五,〇〇〇	一六四,八〇〇		

本關馬立	十八年	木造	一	二〇八	一六五〇〇	△三十一年取毀チタリ
同 揭示場	三十一年	同	一	長一丈三尺 幅七尺五寸	一九五二五	
同 棧橋	三十二年	同	一	四〇〇	五九九七五	
本關監所	三十三年	同	一	四〇〇	一五二五八〇	本監所ハ民有家屋ヲ買上ケタル モノナリ
同 監吏立番所	同	同	一	四〇〇	一八八五五	
同	同	同	一	四〇〇	一一四〇〇	
小樽應舎	二十九年	木造	一	五二〇〇	九六三八二〇	
同 上屋	同	同	一	一〇〇〇	一四七五九〇	
同 小艇釣場	三十一年	同	一	六〇〇	五二一九	
同	三十三年	同	一	七二九五〇		
室蘭小艇釣場	三十一年	木造	一	三五〇	三〇八二〇	
區 分	建設年度	種類	棟數	坪數	建築費	備 考
本關附屬官舎	十三年	木造	四	三七〇〇	八三五〇六四二	△上記外官舎建坪二百二十二坪此價格四千 八百七拾五圓八拾六錢壹厘ヲ三十一 年ニ至リ稅務管理局ヘ引繼ク
同	十六年	同	三	一四一九	三〇三五〇〇〇	
同 既	十八年	同	一	一三七五	一一〇〇〇〇	

小樽支署官舎	三十二年	木造	二	六二五〇	一、五九六二二〇	△印ハ朱書
同 物置	同	同	二	六七五	八七五九〇	
區 分	決定年月日	坪數	更正坪數	備 考		
仲濱町本關	九年三月八日	二、〇五三九	二、〇四九〇	在來敷地開拓使ヨリ引繼ク 開拓使ニ於テ實測シ増坪トナル地券ヲ受ク		
同	十四年十一月十八日	三三六〇	二、〇四九〇	荷揚場チ區別シ地券ヲ受ク		
同 荷揚場	同	同	一、九三六六	大臣達ニ依リ地券面ヨリ百〇八坪二合三勺チ地 方廳ヘ讓渡ス		
同 廳舎	二十年一月三十一日	同	一、九三六〇八	地方廳ヨリ一坪四合一勺ヲ讓受ク		
同	同	同	同	本省大臣達及會計局長通牒ニ依リ實測ノ結果七 坪五合二勺ヲ減ス		
小樽	二十七七月	一五二二五		北海道廳ヨリ讓受ク		
區 分	決定年月日	坪數	更正坪數	備 考		
天神町七十四番地	十二年七月	二、四五六八	二、四六七二	十四年十一月十五日開拓使ヨリ地券證ヲ受ク 舊開拓使ヘ照會ノ結果三坪五合四勺チ増ス		
同 官舎	十五年二月	同	同	廿三年十二月大臣達ニヨリ實測ノ結果四勺チ増ス		
同 町九十三番地	十七年六月	一三三〇三	一三三〇七	△三十年十二月函館稅務管理局ヘ引繼ク		

酢	銅並眞鍮製作道具類	鉛	漆	土	敷	干	蜜	カ	ラ	栗	生	鹽	酒	角	魚	人	絹
	米通シ		器	瓶	物	柿	柑	ウ	ヨ								
樽	箱	本	筒	筒	俵	箱	斤	樽	樽	箱	樽	俵	瓶	同	斤	同	同
一〇八	三	二〇	一四	三	五〇	三	三	八	三	一〇〇	二〇〇	一	六	一四九	四〇〇	二九二	二五〇
臘	干	干	ホ	石	大												
	干	干	林														
	干	干	檜	鹼	黄												
樽	封	樽	樽	箱	箱	筒											
一	六〇〇	二	五	一〇〇	六												

板	薪	蜜	錫	炭	昆	鮑	煎	五	烟	硝	烟	鱈	烟
取	合												
枚	本	斤	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一〇七	二九六	一〇四	三〇二	七五七	六四九	四二〇	一〇三	三六六	三四五	二六	三六九	四〇五	四四八
水	白	朱	酒	鐵	蠟	硝	天	木	綿	毛	硝	麥	バ
砂	砂	類	類	取	取	子	子	類	取	織	子	粉	ン
糖	糖	合	合	板	燭	器	絨	合	物	板	粉	筒	
樽	俵	箱	同	同	箱	同	同	同	同	箱	筒	筒	
五〇	五五	二〇	四六	三〇〇	二五	八	五	一八	一三	一七	二〇	二〇	六

文久二年輸出入品表

鹿	葉	角	草	烟	ノ
筒	同	筒	同	筒	同
一六	二〇六				

明治三十七年十二月二十三日印刷	
明治三十七年十二月二十七日發行	
東京印刷株式會社	
横濱市太田町六丁目九十四番地	
横濱分社	
廣瀨安七	
横濱稅關	

明治三十七年十二月二十三日印刷
 明治三十七年十二月二十七日發行

横濱稅關

印刷人 廣瀨安七
 横濱市神奈川青木町四百五十四番地

印刷所 横濱分社
 東京印刷株式會社
 横濱市太田町六丁目九十四番地

製本控

冊第號

981	冊	42	號	年	月	日
書名	函館稅周沿革(史)					
著者	函館稅周編					
受入	18年10月5日					
備考	寄贈 / 冊					

981

12

981
42

終